



国際災害レスキューナース
辻 直美

レスキューナースからの メッセージ

30 Vol.



今までの経験を超える災害(1)

だからこそ、防災のあり方を変えよう!!

大阪北部地震、そして西日本豪雨により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被害に遭われたみなさまへ心よりお見舞い申し上げます。

2018年6月18日7時58分、大阪北部を震源とするマグニチュード6.1、震度6弱の地震が起きました。検証の結果、内陸地殻内地震、逆断層型、及び、右横ずれ型断層と判明しています。余震は8月10日現在で56回、最大余震は6月19日の震度4です。被害総額1,800億円、地震での死亡者は5名、ライフラインの全面復旧にはかなり時間がかかりましたが、8月10日現在全て復旧しています。

発災時、私は大阪の自宅にいました。この日は名古屋で会議があるため、書斎のPCで資料の確認をしていました。自宅は震源から3キロしか離れていない上、18階建マンションの12階、本当に激しく揺れました。

しかし我が家での被害は、キッチンの調味料が3本倒れただけでした。減災対策をしていますと、災害状況はかなり変わるんです。片付けが少なくすみませし、惨状が目の前にないだけで、落ち込みません。書斎には1,000冊以上の



本が並んでいましたが、本棚が倒れておれば大変な事に…。

お蔭で、命が助かりました。本が一冊も落ちて来なかっただけでも、なり心が楽なんです。家族も全員無事でした。

SNS、ラジオ、テレビからの情報ではかなりの被害が出ていることがわかりました。発災から3分、15分。揺り返しもないので外の状況を確認しようと思い、共用廊下に出てみましたら、予想通り、マンションのエキスパンション



は外れていましたし、エレベーターも止まっていた。ベランダに出てみましたら、屋根が落ちている家がたくさん見えました。

しかし動揺はなく、非常に冷静に状況を受け

止めてジャッジしながら行動していました。自分が次にすべきことは何か? 考えていたら…、ベランダ越しにお隣にお住いの方が、「家の中がぐちゃぐちゃなんです。助けてください」と声を掛けてきました。お部屋に入ると…、我が家とは全く違う状況でした。お隣なのにこんなに違うのか…と声が出ませんでした。幸いにも怪我はないようですが、家具が倒れて物が散乱していましたが、「知識があって、準備をしていたら、被災は減らせる」と私は確信しました。